

ベトナム投資開発銀行(BID)



《企業紹介》

同社は、1957 年に財務省によって設立されたベトナム建設銀行を前身とするベトナムで最も古い銀行である。1981 年にベトナム国立銀行の傘下となり、1990 年に現社名となった。国営 4 大銀行の一つで、2025 年 12 月末の総資産額は上場銀行中で最大の規模を誇り、2025 年 12 月期の税前利益は上場銀行中 3 位となっている。同社の強みは政府系金融機関としての信用力と、全国 63 省・市に展開するネットワークに裏打ちされたリテールバンキングでの存在感であり、住宅ローン、消費者ローン、ビジネスローンなどの個人向け融資が成長のドライバーとなっている。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の営業収入(対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額) は前年同期比 7.0% 増の 23.6 兆 VND (ベトナムドン) だった。貸出債権残高が同 15.2% 増の 2,467 兆 VND となったほか、調達金利上昇を上回るペースでの貸出金利引き上げによって預貸利ザヤの改善が進んだことから、金利収入は同 18.8% 増の 17.8 兆 VND となった。採算改善によって手数料収入は同 3.8% 増の 1.9 兆 VND となった。その他収入は、外国為替売買益や投資有価証券売却益の大幅な減少によって同 25.7% 減の 3.8 兆 VND にとどまった。

税前利益は同 19.8% 増の 10.3 兆 VND となった。営業収入の増加に加え、営業費用が同 1.6% 増の 7.4 兆 VND と抑制的だったこと、貸倒関連費用が同 4.6% 減の 5.8 兆 VND に減少したことが税前利益を押し上げた。純利益は同 20.6% 増の 8.1 兆 VND となった。緩やかなペースだが、預貸利ザヤの改善が進み、収益力が強化されていることが確認できる決算だったといえるだろう。このような収益力の強化によって、貸出債権の増加と預貸利ザヤの改善が両輪となって同社の利益水準を押し上げる局面が近づいていることが期待できそうだ。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	22,089.9	9.2	21,154.2	22.6	30,087.8	13.9	20,697.6	15.6	23,637.9	7.0
(うち金利収入)	14,991.7	1.0	15,172.6	8.5	19,185.2	22.7	15,733.7	12.8	17,804.2	18.8
(うち手数料等収入)	1,887.4	-2.7	1,733.5	17.5	1,764.4	-10.3	1,624.9	5.6	1,959.8	3.8
(その他収入)	5,210.8	51.1	4,248.0	136.8	9,138.2	3.8	3,338.9	38.3	3,873.9	-25.7
営業費用	7,367.1	9.8	7,374.5	16.9	9,779.3	4.2	6,628.0	12.2	7,484.7	1.6
貸倒関連費用	6,098.1	13.8	6,185.9	38.9	6,135.0	-20.2	5,498.0	20.1	5,820.3	-4.6
税前利益	8,624.7	5.7	7,593.8	16.9	14,155.9	51.6	8,571.6	15.6	10,332.9	19.8
純利益	6,755.8	6.1	5,953.0	15.6	11,355.1	54.9	6,800.8	16.4	8,146.2	20.6
貸出債権残高	2,141,443.8	16.1	2,197,470.8	14.8	2,338,009.5	15.9	2,392,549.4	15.7	2,467,112.3	15.2
貸倒比率(年換算、%)	1.1	-	1.1	-	1.0	-	0.9	-	0.9	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額
注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)
注3 2025年10-12月期の数値は2025年12月期の監査済み決算数値をもとに計算した数値である
出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会 有効期限作成日より 180 日 News20260805
主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

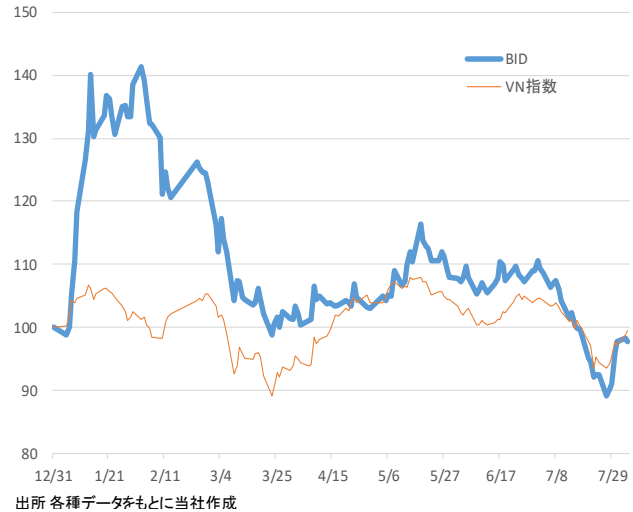
ベトナム投資開発銀行(BID)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2025 年終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は、2026 年の 1 月から 2 月にかけての一時期を除き、ほぼ VN 指数に連動した動きをみせている。8 月 4 日終値時点で VN 指数が 2025 年末比 0.4% の下落となっているのに対し、同社の株価は 2.3% の下落となっている。8 月 4 日終値 38,000VND で計算した時価総額は 276.6 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期実績の純利益 29.9 兆 VND に対して 9.3 倍の水準となっている。競合他社に比べて貸出債権の増加ペースは緩やかだが、貸出金利の引き上げを積極的に進め、預貸利ザヤの改善が進んでいる。7-9 月期以降の決算でこの傾向の継続が確認できれば株価パフォーマンスの改善に貢献することになるだろう。一方、ベトナム政府はインフラ投資などへの貸出について、低金利を求める姿勢を示しており、このような動きが同社の採算改善の足かせになるリスクには留意する必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。